

中國出土資料學會
平成23年度第2回例会

日時：平成23年12月10日（土）
受付開始 12：30～
研究報告 13：00～17：00

場所：大正大学1号館2階大会議室
（東京都豊島区西巢鴨3-20-1）

会場へのアクセス：

- 都営地下鉄三田線・・・西巢鴨駅下車徒歩2分
- JR埼京線・・・・・・・・板橋駅東口下車徒歩10分
- 都電荒川線・・・・・・・・新庚申塚駅又は庚申塚駅下車徒歩7分

報告Ⅰ 山下 將司（日本女子大学文学部史学科准教授）

発表題目：

発表概要：

※発表者の希望により、題目と概要は不掲載とします

報告Ⅱ 名和 敏光（山梨県立大学国際政策学部准教授）

発表題目：馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の資料的性格について

発表概要：馬王堆漢墓帛書は出土以来40年を迎えようとしている。その間、新たな出土資料の発見・整理・出版がなされる中、現在の馬王堆漢墓帛書に対する研究は盛んとは言いがたいのが現況である。

しかしながら、東方書店で馬王堆出土文献訳注叢書として五種が出版され、今後も出版の予定である。また、現在復旦大学出土文献與古文字研究中心では、以前文物出版社で出版された『馬王堆漢墓帛書』を再整理・再出版するための作業が進行中である。

今回の報告では、馬王堆漢墓帛書研究の現状を紹介しつつ、武田時昌氏の「刑徳遊行の占術理論」（『中国学会報』第63集）が発表されたのを受けて、これまで報告者が整理していた馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇に関し、その資料的性格について拙考を提示しようと思う。

報告Ⅲ 陳 松長（湖南大学嶽麓書院教授）

発表題目：嶽麓秦簡中の“爲偽私書” 案例及相關問題試説

発表概要：陳松長先生は、嶽麓書院秦簡『奏讞書』に含まれている案例「爲偽私書」についてお話して下さる予定です。本件は、學という15歳の少年が、秦の將軍馮毋澤の子を騙った手紙を持参し、役人から金銭をだまし取ろうとした案例です。

☆参加費(資料代) 500円

☆非会員の来聴を歓迎します



連絡先

〒113-0033

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学文学部

中国語中国文学研究室 大西研究室

Tel 03-5841-3822 (直通)

Fax 03-5841-3823

E-mail : syutsudo@l.u-tokyo.ac.jp

郵便振替口座 00180-5-13124